



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所 東
 コード番号 6292 URL <https://www.kawata.cc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 亙
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 原田 恭子 (TEL) 06-6531-8211
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,198	36.2	15	—	55	△59.5	△9	—
2023年3月期第1四半期	3,818	△7.1	△16	—	137	△35.3	68	△47.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 38百万円(△85.0%) 2023年3月期第1四半期 259百万円(△32.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 △1.42	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	9.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	25,998	11,654	44.0
2023年3月期	25,171	11,760	45.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 11,429百万円 2023年3月期 11,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.50	—	20.50	41.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	20.50	—	20.50	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,200	28.5	1,280	100.4	1,250	53.6	930	164.7	133.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	7,210,000株	2023年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	230,967株	2023年3月期	231,502株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	6,978,516株	2023年3月期1Q	6,976,193株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国におけるウイズコロナ政策の浸透によりコロナ禍からの経済正常化の動きが進む一方、ウクライナ情勢の長期化や資源価格の高騰、金融引き締め等の長期化等を背景とする欧米の景気減速懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

わが国経済も、5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症に移行したこと等に伴い、個人消費は回復基調にあるものの、設備投資については、資源価格の高騰や円安等に伴う物価上昇が続いており、先行き不透明な状況で推移しております。設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、2022年7月～9月は14,014億円（前年同期比10.6%増）、10月～12月は12,255億円（同8.4%減）、2023年1月～3月は12,492億円（同6.2%減）、4月は4,100億円、5月は4,230億円と、5月は若干持ち直したものの前年同期比では7.0%減となっており、2022年度後半から減少傾向が続いております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

当第1四半期における受注高は、前第1四半期における日本セグメントの受注高が大きかったことにより、前年同期比では6千7百万円減（同1.1%減）の62億4千万円となりましたが、直前四半期（前第4四半期）と比べると増加しました。これにより、受注残高は前年同期比40億4千7百万円増（同38.6%増）の145億3千7百万円となりました。また、売上高につきましては、電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の売上が堅調に推移したこと等により、前年同期比13億8千万円増（同36.2%増）の51億9千8百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減に努めたものの、大型受注案件の増加に伴う製品構成比率の変動等により売上総利益率が悪化（28.5%→22.6%）したことに加え、販売費及び一般管理費が増加したこと等により、営業利益は前年同期比3千2百万円増の1千5百万円（前年同期は1千6百万円の営業損失）にとどまりました。また、経常利益については、為替差益が前年同期に比べて9千6百万円減少したこと等により、前年同期比8千1百万円減（同59.5%減）の5千5百万円となりました。

特別損益では、投資有価証券評価損1千万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税9千8百万円、法人税等調整額マイナス3千9百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は前年同期比7千8百万円減の9百万円（前年同期は6千8百万円の四半期純利益）となりました。

日本におきましては、引き続き電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の売上が堅調に推移したこと等により売上高は前年同期比10億3千万円増（同40.7%増）の35億6千1百万円となりました。損益面では、資源価格の上昇に加え、大型受注案件の増加に伴う製品構成比率の変動等により売上総利益率が悪化（26.0%→20.3%）し、販売費及び一般管理費も増加しましたが、営業利益は前年同期比1千6百万円増（同18.5%増）の1億8百万円となりました。一方、セグメント利益（経常利益）は為替差益の減少等により、前年同期比4千5百万円減（同12.2%減）の3億2千6百万円となりました。

東アジアにおきましては、引き続き電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連並びにスマホ・VR用レンズ関連の受注が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比6億1千5百万円増（同62.9%増）の15億9千4百万円となりました。損益面においては、売上総利益率は悪化（25.5%→22.5%）したものの、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益は前年同期比1億2百万円増の3百万円（前年同期は9千8百万円の営業損失）となりましたが、為替差益の減少等によりセグメント損失（経常損失）は6千7百万円（前年同期は9千9百万円の経常損失）となりました。

東南アジアにおきましては、個人消費を中心に景気は回復基調にあるものの、民間設備投資については、自動車関連を中心に回復のスピードは緩やかで、売上高は前年同期比4千3百万円減（同8.9%減）の4億4千2百万円となりました。損益面では、売上総利益率は改善（35.1%→36.7%）したものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は前年同期比1千5百万円減（同75.6%減）の5百万円となり、セグメント利益（経常利益）は前年同期比9百万円減（同44.0%減）の1千2百万円となりました。

北中米におきましては、中米では自動車関連を中心とした設備投資が緩やかに回復基調にあり、売上高は前年同期比3千8百万円増（同90.1%増）の8千万円となりました。一方、損益面では、製品構成の変動等により売上総利益率が悪化（38.0%→24.1%）したことに加え、販売費及び一般管理費が増加したこと等により、営業損失が3千4百万円（前年同期は2千3百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）が2千1百万円（前年同期は1千1百万円の経常損失）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、現金及び預金、仕掛品、原材料及び貯蔵品が増加したこと等により6億6千8百万円増加し、197億1千4百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物が増加したこと等により1億5千7百万円増加し、62億8千3百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8億2千6百万円増加し、259億9千8百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したこと等により9億3千5百万円増加し、104億3千7百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、その他の固定負債が減少したこと等により3百万円減少し、39億6百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9億3千2百万円増加し、143億4千3百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、利益剰余金が減少したこと等により1億5百万円減少し、116億5千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、引き続きウクライナ情勢の長期化や資源価格・原材料価格の高騰、欧米での景気減速懸念等、不透明な状況が続くものと予想されます。

わが国経済も、ウイズコロナ政策のもと、経済活動正常化の動きは進んでおりますが、製造業の設備投資については、資源価格の高騰や、電気部品等の供給不足の長期化等により急激な回復には至らないものと予想しております。

かかる環境下、当社グループにおきましては、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化等の動きや、ウイズコロナ政策のもと、社会の環境変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの確に対応していくとともに、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上等を中期的に取り組んでおります。また、地球レベルでの環境問題（脱炭素、使い捨てプラスチックの削減）に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治（コーポレートガバナンス）等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を推進いたします。

これらの中長期的な取り組みのなかで、特に電気自動車向けのリチウムイオン電池関連及びスマホ・VRレンズ関連の受注を着実に取り込むことで受注残高が増加していることから、現時点におきましては、2023年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,246,977	7,559,625
受取手形、売掛金及び契約資産	7,322,312	7,152,207
商品及び製品	978,649	1,001,277
仕掛品	1,302,639	1,725,096
原材料及び貯蔵品	1,669,919	1,800,893
その他	594,733	538,912
貸倒引当金	△69,267	△63,535
流動資産合計	19,045,964	19,714,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,050,533	2,538,075
土地	1,599,140	1,599,968
その他（純額）	1,207,858	812,336
有形固定資産合計	4,857,532	4,950,381
無形固定資産		
その他	573,136	577,519
無形固定資産合計	573,136	577,519
投資その他の資産		
その他	698,866	759,573
貸倒引当金	△3,943	△3,943
投資その他の資産合計	694,923	755,630
固定資産合計	6,125,592	6,283,531
資産合計	25,171,557	25,998,009
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,313,791	3,644,171
短期借入金	3,129,142	3,509,908
未払法人税等	215,936	124,192
製品保証引当金	108,420	123,720
役員賞与引当金	46,451	9,550
その他	2,687,617	3,025,788
流動負債合計	9,501,359	10,437,330
固定負債		
長期借入金	2,697,000	2,697,000
役員株式給付引当金	20,240	20,240
退職給付に係る負債	997,005	1,003,697
その他	195,878	185,424
固定負債合計	3,910,124	3,906,361
負債合計	13,411,483	14,343,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	8,812,922	8,657,825
自己株式	△131,654	△131,203
株主資本合計	10,727,800	10,573,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,226	157,365
為替換算調整勘定	684,454	699,463
その他の包括利益累計額合計	811,681	856,828
非支配株主持分	220,591	224,333
純資産合計	11,760,073	11,654,316
負債純資産合計	25,171,557	25,998,009

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	3,818,382	5,198,882
売上原価	2,731,296	4,022,993
売上総利益	1,087,086	1,175,888
販売費及び一般管理費	1,104,032	1,160,407
営業利益又は営業損失(△)	△16,946	15,481
営業外収益		
受取利息	2,274	3,715
受取配当金	5,581	5,903
為替差益	141,403	44,577
その他	16,182	4,409
営業外収益合計	165,441	58,605
営業外費用		
支払利息	9,228	11,673
その他	1,779	6,745
営業外費用合計	11,007	18,418
経常利益	137,487	55,668
特別利益		
固定資産売却益	952	1,457
投資有価証券売却益	6,969	-
特別利益合計	7,921	1,457
特別損失		
固定資産除売却損	327	222
投資有価証券評価損	-	10,685
特別損失合計	327	10,907
税金等調整前四半期純利益	145,081	46,217
法人税、住民税及び事業税	36,018	98,485
法人税等調整額	39,902	△39,883
法人税等合計	75,921	58,602
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69,160	△12,384
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	68,491	△9,920
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	669	△2,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,326	30,138
為替換算調整勘定	217,837	21,214
その他の包括利益合計	190,511	51,353
四半期包括利益	259,671	38,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,639	35,226
非支配株主に係る四半期包括利益	15,031	3,741

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	2,404,846	886,628	484,942	41,965	3,818,382	—	3,818,382
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126,778	92,559	961	596	220,896	△220,896	—
計	2,531,624	979,188	485,903	42,562	4,039,279	△220,896	3,818,382
セグメント利益又は 損失(△)	371,514	△99,176	22,409	△11,550	283,196	△145,709	137,487

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	283,196
セグメント間取引消去	△145,709
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	137,487

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	3,204,928	1,477,052	437,576	79,325	5,198,882	—	5,198,882
セグメント間の内部 売上高又は振替高	356,928	117,603	4,969	1,607	481,108	△481,108	—
計	3,561,856	1,594,656	442,545	80,932	5,679,990	△481,108	5,198,882
セグメント利益又は 損失(△)	326,036	△67,272	12,542	△21,930	249,376	△193,707	55,668

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	249,376
セグメント間取引消去	△193,707
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	55,668

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	3,282,083	38.8
東アジア	1,419,104	54.9
東南アジア	103,751	△23.5
合計	4,804,940	40.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は販売価格によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	3,945,920	△3.0	10,210,985	40.6
東アジア	1,867,219	1.5	3,823,935	35.6
東南アジア	376,690	3.9	398,119	9.5
北中米	50,801	35.2	104,254	128.2
合計	6,240,633	△1.1	14,537,294	38.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	3,204,928	33.3
東アジア	1,477,052	66.6
東南アジア	437,576	△9.8
北中米	79,325	89.0
合計	5,198,882	36.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。